
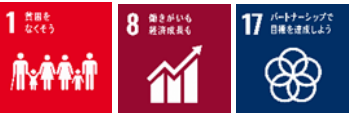


令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

NO.	企業等名	取組概要	関連ゴール
1	株式会社 Amical	<p>毎日のデスクワークで肩こりがあり、朝起きると頭痛がある。仕事が終わると腰が痛く、マッサージに行っても痛みが変わらない。毎日が痛みに追われている。</p> <p>パーソナルジム Amical では、痛みの根本改善トレーニングをお客様に提供しています。</p> <p>「トレーニング＝身体を大きくする」ではなく、「トレーニング＝健康になるために行う」という目的で、トレーニングを提供しています。</p> <p>日常の痛みを改善することで、日常生活がより豊かになります。</p> <p>地域の少年サッカークラブで、子どもたちのけが予防のトレーニングや動作改善トレーニングも行っています。</p>	
2	株式会社アルフォース・ワン	<ul style="list-style-type: none"> ・若者向け、女性専門、高齢者専門、外国人専門、障がい者専門、職種専門など、多種多様な求人情報サイトの提供及び外国人採用に特化した B to B マッチングサービスの提供により、年齢、性別、人種、国籍など問わず、全ての人々が生き活きと活躍できる「多様性ある持続可能な社会」の実現に寄与します。 ・求人情報の提供を通じた新たな雇用創出及び若者や外国人、障がい者を含むすべての人々のディーセント・ワーク、ならびに同一労働同一賃金の達成のための労働力の流動化と適切な採用・雇用知識の周知活動を行っています。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

<p style="text-align: center;">3</p>	<p style="text-align: center;">株式会社 OSG コーポレーション</p>	<p>・「ステハジ」プロジェクトに取り組んでいます。これは、「使い捨ては恥ずかしい」という考え方を通して、誰でも(Everyone、子どもから高齢者・企業・自治体など)、毎日(Everyday)、どこでも(Everywhere)、少しの意識と行動で、海洋プラスチック問題や使い捨てから生まれるその他さまざまな社会課題を、個人・企業・自治体・団体が一体となって啓発・実践し、行動変容を実施しています。</p> <p>誰でも、毎日、どこでも取り組める具体的チャレンジとして、以下の2点に取り組んでいます。</p> <p>「ペットボトル 50 億本削減」チャレンジ</p> <p>「みんなで拓げる給水スポット」チャレンジ</p> <p>給水スポットを自宅や職場、街中に広げることで、使い捨てによるプラスチックごみを削減し、マイボトル文化の定着に貢献します。そのために、みんなが手軽に始められるサステナブルな行動変容を啓発しています。</p> <p>さあ、みんなで サステナブル はじめよう</p>	
<p style="text-align: center;">4</p>	<p style="text-align: center;">医療法人同愛会小澤病院</p>	<p>・「医療を通じて地域社会に貢献する」を理念に、地域の救急病院として急病を主とした急性期医療に日々取り組んでいます。超高齢社会を目前に控え、医療と介護の連携をより深め、急性期医療を通じてさらに地域に貢献します。</p> <p>・予防事業として、健康診断や人間ドック、がん検診を推進し、病気の予防と早期発見に努め、健康な社会づくりに貢献します。</p> <p>・出産後の女性のみならず、子育てに関わる男性も共に安心して働ける環境を目指し、育児休暇や時短勤務制度以外にも、夜勤勤務にも対応できる24時間稼働の院内保育室を整備しています。</p> <p>・医療人、組織人として、各職種プロフェッショナルとして成長し、多職種連携でチーム医療が実践できる人材を育てています。これにより、質の高い医療を提供できるよう努めています。</p> <p>・中学生、高校生を対象とした職場体験を実施しています。医療職を目指す学生のインターンシップ、見学を積極的に受け入れ、医療現場における学びの場を提供しています。</p>	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

5	小田原オーシャンズフィールド	<ul style="list-style-type: none"> ・野菜や果物を生産し、安心して安全な食物を家庭に届けている。 ・個人が自分で野菜や果物を作る場を提供している。 ・荒廃地を畑として再活用している。 ・障がい者雇用を積極的に行っている。 ・小田原市の魅力ある場所をブラッシュアップしている。 ・持続可能な農業を推進している。 ・持続可能な地域コミュニティを推進している。 ・まちのコイン「おだちん」を活用している。 	
6	認定特定非営利活動法人 小田原なぎさ会	<p>「色々な障がいを持つ皆さんが誇りある社会の一員として自立した生活を送ること」を支援する活動を行っています。施設の設置・運営、普及・啓発、関係先との連携が主な事業です。「障がいを持つ皆さんも大切な私たちの仲間として、共に暮らす地域・社会を作り上げていく動きを広めたい想い」を大切に、事業を推進しています。この想いや活動は、①福祉の促進や差別の解消、不平等の是正、②自然環境の保護及び回復への取組等の観点から、持続可能で多様性と包摂性のある社会を目指す思想など、SDGs に深いつながりを持っていると捉えています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置・運営: 集団行動を通じて、障がい者の自立への道につなげている。 ・普及・啓発: 「取り巻く社会も当事者も互いに歩み寄り、理解を深める努力を積み重ねる中から、共に生きる社会の実現」を目指し、広く活動を展開している。 ・関係先との連携: 色々な活動団体や自治体との協力や協働に力を入れている。身近な例では、夏祭りや防災訓練等での地域との交流によるまちの活性化に注力している。 ・エコキャップ活動: 多くの応援を得ながら、施設の利用者が自主活動として取り組んでいるこの活動を通じて、自然保護やワクチン支援を継続推進している。 ・エコマグネット(自主製品)製作・販売: コロナ禍で創出した環境に優しいデコレーションマグネットは、ペットボトルのキャップを再活用した、まさに「アップサイクル製品」で、製作する利用者の工賃アップにつなげている。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

7	医療法人患中会小田原箱根健診クリニック	<ul style="list-style-type: none"> ・地域と共に歩んでいく医療を目指し、2021年2月に開院しました。神奈川県内最高水準の設備により高度な検査を実現するとともに、誠実でやさしさある対応をスタッフ一人ひとりが大切にしています。地域の皆様の「健康な生活」を支え、安心して暮らし続けることができるように、「治療する医療」から「予防する医療」へ、その大切さを共有していきたいと考えています。 ・小田原、箱根を中心とする地域の魅力をPRし、医療ツーリズムを企画。地域経済の活性化に貢献すべく、企業や海外に向けて、旅行を兼ねた健診を提案しています。 ・院長をはじめ、医師、看護師、臨床検査技師、放射線技師、事務スタッフの9割が女性です。経営、マネジメントに至るまで、女性が中心となって活躍しています。 ・健診を通じて地域の皆様の健康管理に携わる上でまず、本人と本人の家族の健康を第一にしています。プライベートや家族との時間、子育てを応援するために、原則残業はなく、休日休暇も充実させています。誰もがやりがいを持って働き、自己成長へつなげていける職場づくりに力を注いでいます。 	
8	特定非営利活動法人小田原まちづくり応援団	<p>「おだわら千年蔵構想」を土台にした「まちの宝物を活かした小田原らしいまちづくり」に取り組むNPOです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な主体(地元組織、市民団体、NPO、大学、企業、行政など)の参加と連携を促すためのネットワークの場となるイベントを定期的で開催しています。 ・小田原のまちづくりを公民学の連携で行う「アーバンデザインセンター小田原」に協力し、住民自らがまちづくりを考え、議論し、提案する場を提供します。 ・中世、近世、近代、現代と連なる小田原のまちの歴史・文化を丹念に調べて記録し、書籍やガイドブックとして発信しています。 ・小田原のまちの歴史・文化を内外に知ってもらうため、専門性の高いまち歩きイベントを実施しています。 ・小田原のまちの歴史・文化を次世代に継承するために、大学生向けのまち歩きや、子ども向けのワークショップ等を実施しています。 ・地域に眠っている宝物を掘り出し、蘇らせる仕組みを作ります。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

9	カイロプラクティック施術院 赤心	<p>3すべての人に健康と福祉を あらゆる年齢のすべての人々の健康のため、日々施術を行っています。地域に向けた教室なども開催しています。</p> <p>4質の高い教育をみんなに カイロプラクターならではの専門知識を活かし、正しい健康のための情報を発信しています。</p> <p>5ジェンダー平等を実現しよう 8働きがいも経済成長も 年齢も性別も関係なく、生涯続けられる仕事としてのカイロプラクターの資格取得をサポートしています。</p>	
10	花王株式会社小田原事業場	<p>花王グループは、持続可能なこころ豊かな暮らし「Kirei Lifestyle」が何よりも大切だと考え、それを実現するための ESG 戦略「Kirei Lifestyle Plan」の3つのコミットメント「快適な暮らしを自分らしくおくるために」「思いやりのある選択を社会のために」「よりすこやかな地球のために」を通して、事業のあらゆる面での革新を進めるとともに、さらなる社会への貢献を目指していきます。</p> <p>花王株式会社小田原事業場では、主に以下の取組を行っています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フェアトレード商品の積極登用 ・健康づくり事業の推進、社内禁煙に向けた取組強化 ・DE&I の推進と介護看護・育児と仕事の両立支援制度の拡大 ・エネルギー効率の高い設備や LED の導入等、省エネ化推進 ・設備の導入による省人化、社員エンゲージメント調査の実施と改善 ・小田原事業場で働く全ての仲間の働きやすい環境づくりの実現 ・ゼロエミッション取組、完全リサイクル工場の実現を目指す ・津波避難施設登録 ・排水処理装置や排水基準の自主管理による適正管理 ・ISO14001 取得、ABINCいきもの共生事業所認定、小田原メダカ保護のための里親制度に登録 ・行政とのパートナーシップ(包括協定)の推進 	

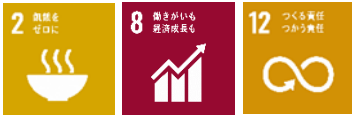
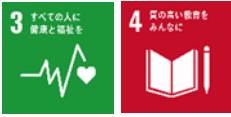
令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

11	株式会社勝俣組	<p>安心・安全なまちづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土木工事・建築工事を中心に、高精度な工事を納期の遅れなく施工し、創業以来の実績と信頼を通じて、安全で安心なまちづくりに貢献している。 ・品質や技術の向上のため、ISO9001の認証取得を継続している。 <p>働きやすい職場づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・社員がやりがいを持って働き続けられるよう、人材育成と技術向上のため、講習費の補助、社外研修会への参加、必要資格取得の推進制度を構築してる。 ・女性社員が働きやすい職場環境を整備している。 ・協力会社と安全大会を実施している。 ・けがや事故のない安全な作業場を構築している。 <p>環境への取組</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各社屋及び賃貸物件をLED化している。 ・排ガス対応重機の使用、省エネ設備への切り替えを行い、CO₂削減に取り組んでいる。 ・産業廃棄物を適切に処理している。 <p>地域貢献・社会貢献</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の活性化を通じて持続可能な社会の実現に貢献している。 ・地元人材の採用や地元企業への発注に努めている。 ・自治体や企業と災害協定を締結し、道路・鉄道・水力発電施設・降雪等の災害に敏速に対応している。 	 <p>The image shows 11 SDG icons arranged in a grid. The icons are: 3 (Health and Well-being), 4 (Quality Education), 5 (Gender Equality), 7 (Affordable and Clean Energy), 8 (Decent Work and Economic Growth), 9 (Industry, Innovation and Infrastructure), 11 (Sustainable Cities and Communities), 12 (Responsible Consumption and Production), 13 (Climate Action), 15 (Life on Land), and 17 (Partnerships for Development).</p>
----	---------	--	---






令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

12	株式会社クオーレ不用品回収アース神奈川	<p>不用品回収、生前整理、遺品整理などの整理事業や、リユース事業を行っています。</p> <p>神奈川県内で事業所「不用品回収アース神奈川」を運営しており、小田原市全域も事業の対象とし、活動しています。</p> <p>主な取組内容は、以下のとおりです。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理事業を通じた廃棄物の減少と再資源化への取組 ・リユース事業を通じた循環資源の活用と、生産における廃棄物削減への取組 ・不動産事業を通じた空き家問題への取組 ・休暇取得促進、定期的な社内研修実施、ハラスメント窓口の設置、寄附活動、地元求人者の積極採用等の実施 	
13	くすのき薬局株式会社	<p>健康と福祉(ゴール1・3)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康の拠り所として、皆さんの集う場所として、地域に根ざしたかかりつけ薬局を目指している。 ・薬、健康、介護などの相談窓口として、皆さんが健やかであり続けるためにサポートしている。 ・医薬品を安全に、また適正に使用してもらうための啓発活動に取り組んでいる。 <p>質の高い教育(ゴール4)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生や高校生のインターンシップ、薬学部学生の実習生を受け入れ、質の高い教育を実施している。 <p>気候変動への対策(ゴール7・13)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・薬局内照明器具の省エネ化に取り組んでいる。 <p>働きがい(ゴール5・8)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・障がい者雇用の促進と自立支援、女性活躍の推進に取り組んでいる。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

14	合同会社クラトミデザイン	<p>2 飢餓をゼロに 小田原のオーガニックビレッジ構想に賛同。レジリエンスや環境保全の視点から、オーガニック栽培を行う飯泉のシェア農園を借りて野菜を栽培。シェアしている方々、地域の方々と生産物を分かち合い、食や体験を通じて交流する機会を増やしています。また、子ども食堂「まんまるほっぺ食堂」に寄附で支援しています。</p> <p>8 働きがいも経済成長も 伝える・つなぐ仕事を通じて、小田原の文化や特産品を SNS などの発信や収穫体験ツアーなどのイベントで広めることに貢献。「サステナブルでウェルビーイングな小田原」として、観光や他の産業が発展できるよう、市の方々や地元の企業と連携・支援しています。</p> <p>12 つくる責任・使う責任 小田原で、持続可能な開発や自然と調和した暮らし方を実践している事例をリサーチ。情報発信と実現に繋がるヒト・モノ・コトの機会創出に貢献しています。</p>	
15	国際医療福祉大学小田原 保健医療学部	<p>大学が定める3つの基本理念のうち、「社会に開かれた大学」として学問を創造的に追究するとともに、地域社会と一体となり、地域の医療福祉のニーズに応え、地域社会や医療福祉に関わる各界の人々の生涯教育の拠点としても機能できる大学を目指しています。</p> <p>具体的な活動として、大学の知見を広く公開する市民公開講座を年間複数回開催し、また、出張講義や、地域連携ハンドブックを作成・配布して、専門分野の講義依頼に対応することに取り組んでいます。さらに、行政との連携として、小田原市の子育て支援、支援教育チームへの参画などの活動を行っています。各種ボランティア活動に学生を積極的に参加させることで、すべての人に健康と福祉を届けることの一助になるよう取り組んでいます。</p>	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

16	有限会社ジョイファーム小田原	<p> 食べる人、作る人、そして環境に優しい農業を目標に、生産者と共に農産物と農産加工品を販売しています。 </p> <p> 販売するだけでなく、農産物の栽培において生産者と共に栽培基準を設定し、その中で化学合成農薬や化学肥料の低減に取り組み、できるだけ自然の力で育った健康な農産物を消費者の皆さんの元にお届けしています。 </p> <p> 農産加工品は自社で製造し、原料は果物と砂糖、もしくは塩のみという食味と、保存に必要な最低限のものだけで製造しています。 </p> <p> また、農作業体験や勉強会など生産者と消費者の交流と相互理解の場を設けることで、持続可能な農業(生産者)と食(消費者)の関係づくりにも取り組んでいます。それと合わせて農業後継者を育成することで、小田原の農業が続き、健康な食べ物の供給が続き、結果、小田原の環境維持にもつながることを目指しています。 </p> <p> エネルギーに関しては、微力ではありますが、太陽光発電を設置して、会社で使用する電気のうち可能な限りを賄っています。また、果樹の選定枝をバイオ炭にして地球温暖化抑制に寄与するなど、農業を通じて可能な環境負担削減対策を随時検討、導入していきます。 </p>	<div style="display: flex; flex-wrap: wrap; justify-content: space-around;"> <div style="width: 20%; text-align: center;">  <p>7 エネルギーをみんなに そしてクリーンに</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;">  <p>11 住み続けられる まちづくりを</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;">  <p>12 つくる責任 つかう責任</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;">  <p>13 気候変動に 具体的な対策を</p> </div> <div style="width: 20%; text-align: center;">  <p>15 陸の豊かさも 守ろう</p> </div> </div>
----	----------------	---	---



令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

<p>17</p>	<p>湘南生活クラブ生活協同組合小田原センター</p>	<p>生活クラブ 2030 行動宣言</p> <p>目標① 食料主権の考え方を基軸とした、国内生産の追求と公正な調達を行います。</p> <p>目標② 素材本来の味、食材にまつわる知恵や文化を大切にして、健康で豊かな食の実現を図ります。</p> <p>目標③ 地球の生態系を維持するため、海や陸の環境保全と気候危機対策に取り組めます。</p> <p>目標④ 社会の存続をおびやかす危機への対策を進め、暮らしと未来を守ります。</p> <p>目標⑤ 原発のない社会を目指し、再生可能エネルギーの生産と普及に取り組まします。</p> <p>目標⑥ 誰もが個性を活かしながら、安心して生活を営める地域と社会をつくりまします。</p> <p>目標⑦ 貧困と孤立を見過ごさず、自立に向けて寄り添い、支え合い、多様な居場所と働き方をつくりまします。</p> <p>目標⑧ 非戦と共生の立場を貫き、平和で公正な社会を目指します。</p> <p>目標⑨ ジェンダー平等と多様な働き方を実現します。</p> <p>目標⑩ 他団体や行政と連携し、新たな環境保全活動に取り組まします。</p> <p>目標⑪ 情報開示と自主管理を基本とし、自ら考え、決め、実行します。</p>	 <p>The image shows the 17 Sustainable Development Goals (SDGs) icons arranged in a grid. Goals 1 through 16 are shown in their standard colors and icons. Goal 17, 'Partnerships for Sustainable Development', is shown in a blue square with a white icon of three interlocking circles.</p>
-----------	-----------------------------	--	---

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

18	湘南 DOG BASE	<ul style="list-style-type: none"> ・駆除された鹿や猪をドッグフードに利活用する事業に取り組んでいます。 ・ドッグフードの原材料として利活用することで、駆除動物の処分に係る費用の削減、駆除業者の収益の増加、地域内での就労場所の提供につなげます。 ・規格外の野菜、未利用魚をドッグフードの原材料として買い取ることで、地域資源の有効活用、就労者の仕事への意欲向上、社会貢献を目指します。 ・大型調理機を活用し、独自の製法で、高齢者、障がい者による就労が可能になり、経済的な余裕、自立の一助となり得ます。 ・小田原の自然資源を有効活用し、高品質な地域ブランド品として販売することで、地産地消活動のPR、促進へとつながります。 ・駆除業者、農業関係者、漁業関係者、森林管理関係者など、ビジネスで接点を持つことが難しい各従事者の間に立ち、それぞれの資源を一点に集め、利活用へとつなげる役割を果たします。 ・商店街の空き物件を利活用し、店頭販売の実施、啓蒙活動につなげます。 ・ペットを通じて地域コミュニティの場を提供することで、高齢者、移住者、子育て世代の交流を促し、定住、地域活性化につなげます。 	
19	株式会社シンワ建商	<ul style="list-style-type: none"> ・定期的に教育の場を設け、国家資格取得、技能講習、安全教育を率先して行っています。 ・ジェンダー平等の世界を目指し、個々の能力を最大限引き出して活躍できる職場を目標としています。 ・仕事、教育、介護、プライベートのバランスを取り、充実感を持って働けることを目指し、フレックスタイム制を導入しています。 ・自然災害が発生した場合に備え、ダンプトラック、重機、発電機、チェーンソー、水中ポンプ、土嚢袋を常備しています。 ・建設資材で余ったフェンスを畑の外周に設置し、害獣から農作物を守り、家庭菜園を趣味としている方々に安心して食材を確保できる環境を提供しています。 ・建設資材の調達では、再生資材を率先して利用し、地球環境を守る活動をしています。また、地球温暖化を阻止するため、熱帯材を使用しない活動を行っています。 	



令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

20	スタディPC ネット小田原校	<p>パソコンに触れることを通じて、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・パソコンの基礎知識を習得することによって、安定した収入を得る手段の獲得を目指します。 ・パソコンのスキルを習得することにより、職業選択の幅が広がり、働きがいのある生活の獲得をサポートします。 ・高齢者向けに、趣味としてパソコンを楽しんでもらうことにより、生活の楽しみと喜びを獲得することを目指します。 <p>特に、次世代を担う子どもたちには、パソコンに触れることを通じて、世界を広げるお手伝いをします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マウス・キーボードの操作方法の習得、タイピング練習、ビジュアルプログラミングなどを、一つの環境で学ぶことができます。 ・「キッズプログラミング・IT 講座」と「ロボットプログラミング講座」の2つのプログラミング体験を通じて、初めてのお子様でも無理なく楽しみながら、プログラミング的思考である論理的思考力、想像力、問題解決力、集中力を育みます。 ・地域イベントへの参加などを通じて、学ぶ楽しさを伝える活動も実施します。 	
21	生活協同組合パルシステム 神奈川	<ul style="list-style-type: none"> ・連帯と共同の輪を広げ、つながりのある地域社会を目指し、各種取組を進めている。 ・産直の底力を発揮し、農林水産業の復興・再生を進めている。 ・省エネルギー型の事業構造と新たなライフスタイルの提案により、持続可能で安全なエネルギーによる社会づくりを進めている。 ・諸団体と連携し、世界の平和と貧困の問題解決に取り組んでいる。 ・暮らしと食の安全・安心を確保し、豊かな日本の食文化を守ることに取り組んでいる。 ・神奈川県内の学校などで、SDGsに関連した出前講座を実施し、課題への気づきや取組を広めていく活動に取り組んでいる。 	



令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

22	有限会社仙景	<p>・「小さな一歩から大きな変革へ」と考え、衣食住全てに関わる旅館だからこそできる取組を一つずつ進めています。地産地消やアニマルウェルフェアへの配慮など、弊社だけでなくお客様や取引企業様も巻き込んだ大きな「喜の循環」としてのSDGsへの取組を目指しています。</p> <p>・お客様に提供する食事はもちろん、部屋の備品に関しても地産地消を意識しています。アニマルウェルフェアに配慮した平飼い卵の提供を相模原の養鶏場との連携で行っている他、箱根の伝統工芸品である寄木細工を使った備品を部屋に完備することで、お客様に喜んでいただき、地元企業への経済循環も行っています。</p> <p>・若女将は「2030SDGsファシリテーター」の資格取得者として、社員講習だけでなく、箱根湯本観光協会や藤沢市の公民館、小学校でのワークショップを通じて、SDGsの啓蒙活動に積極的に取り組んでいます。また、県内外の企業の社員研修も含めた宿泊プランも行い、観光だけでない魅力の発信にも寄与しています。</p>	
23	たすけあい	<p>・貧困と飢餓をなくし、すべての人が健康で暮らせるよう、無料で食品を配布している。</p> <p>・これを行うことで、食品ロスの低減につながっている。</p> <p>・一人暮らしの方の見守り活動も行っている。</p>	
24	natural beauty salon Serenity	<p>・使う薬剤は、オーガニックや自然由来成分のものを厳選し、環境や人への配慮を心がけている。</p> <p>・訪問美容で、高齢者や障がい者へ美容を通して心を明るく元気に。</p> <p>・過剰な包装や梱包をせず、ゴミの排出量を減らすよう心がけている。</p> <p>・エシカルやサステナブルなライフスタイルを提案している。</p> <p>・使用済みのカラーチューブは、リサイクルで車椅子へ。</p> <p>・ヘアドネーション(髪の毛の寄付)活動への協賛。</p>	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

25	株式会社西山製作所	<ul style="list-style-type: none"> ・社用車をガソリン車からEV車に変更、事業所内に植林や社内の照明をLED化するなど、環境に配慮している。 ・従業員は37名だが、従業員50名以上の事業所に求められている条件と同じ安全・衛生管理を行い、従業員の健康や労働環境をサポートしている。 ・1年に1回、地元高校のインターンシップの受け入れを行い、将来を担う若者たちに製造業を知ってもらう活動をしている。 ・工場の設備に自作の防音器具を取り付け、騒音対策を行っている。 ・省電力モデルの自販機カーボンオフセット適用の複合機を導入するなど、環境に配慮した省エネルギー基準適合製品に順次更新している。 ・従業員に計画的な有給取得を促す制度や早帰り日を設定し、ワークライフバランスを推進している。 	
26	医療法人社団帰陽会丹羽病院	<p>消化器専門として、人々の病気の予防や健康への貢献に取り組んでいます。</p> <p>専門医として、内視鏡検査による胃がん、大腸がん等の早期発見をもとより、医師、スタッフ全員が患者に寄り添うことで、生活習慣などの聞き取りに努め、「未病」の改善にも力を入れています。</p> <p>また、小田原医師会に協力し、がん検診の読影会への参加も継続的に続け、地域貢献に取り組んでいます。</p>	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

27	株式会社 Nodomaru	<p>・人々が長く安心して安全な暮らしができるよう、家族構成や生活習慣に合った住まいを提供します。また、長く住める家、まちづくり、環境に配慮した不動産を目指しています。</p> <p>・環境破壊が著しく、健康問題や少子高齢化が進む社会の中で、人々の健康や生活、金融など今後の社会を自分の選択で幸福に生きていくために必要な情報提供のセミナーを定期的に開催しています。</p> <p>・毎週の社内勉強会を通じて、何のために働くのか、この会社でどのように自己実現していくのか、思考時間と取り、社員の働きがい向上、そして、会社としては日本の経済成長を目指しています。</p> <p>・同業種、他業種関係なく、日本の中小企業を元気に売上向上し、日本経済を活性化していくという同じ方向を向いた企業とタッグを組み、共に取組を進めていきます。</p>	
28	株式会社 NOMAD	<p>SDGs は自分たちの子どもや孫世代にも大きく関わっていく問題と捉え、結婚式を通じて環境問題に身近に触れていただく機会を作っています。これから新たな人生を歩むカップルに呼びかけ、共に考えることにより、当事者意識と問題解決に積極的に参加しやすいような様々な提案をしています。</p> <p>■ エシカルウェディングの推奨</p> <ul style="list-style-type: none"> ・食品ロスの削減のため、適切な量での食事の用意と、ドギーバッグの提案 ・エコフレンドリーアイテムを取り揃え、ギフトとして提案 ・オーガニックコスメの使用やプラスチック不使用など、環境に配慮した取組を行っている事業者との提携 <p>■ 地域経済の活性化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地元のシェフやレストランと提携し、地産地消を目指す ・旅行を兼ねた結婚式を行うことにより、観光地や飲食店へ還元 <p>自治体や異業種の方々と共に連携していくことにより、課題解決につながる結婚式を増やしていきます。</p>	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

29	株式会社パッションプリンセス	<p>エンターテインメントを通じて、笑顔と希望の溢れる未来を目指しています。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・旧ユーゴスラビア(現在のセルビア・モンテネグロ～ベオグラード)10か所において、戦争孤児・難民施設訪問、巡回公演。 ・モンゴル日本語学校に訪問公演。・フィリピン・マニラにてチャリティツアー開催。 ・漫画家と全国の情緒障害児短期治療施設にて訪問公演、体験教室の他、児童養護施設、東京都内の更生施設、刑務所等への慰問公演。 ・東日本大震災において、宮城県多賀城市、福島県南相馬市の避難所訪問。 ・震源地に近かった宮城県網地島、田代島の3か所で慰問公演。 ・福島県飯館村の県指定重要無形民俗文化財「八木沢の田植え踊り」の震災後12年ぶり復活公演に参加。 ・熊本地震、慰問公演・震災支援。 ・BS朝日バトンタッチSDGsにて、児童養護施設出身の若者や養子縁組した子ども、里親を招いたアートイベントに出演。 ・「TOKYOアートタウン計画」にて、都内施設、公園でパフォーマンス。 ・女性パフォーマーを積極的に起用。 	
30	有限会社早瀬幸八商店	<ul style="list-style-type: none"> ・お客様から不要になった紙袋を回収し、別のお客様がエコバッグを忘れたときに使える「フリー紙袋」を実施している。 ・無料配布している保冷剤を返却するよう声掛けし、再利用している。 ・販売されずに捨ててしまうような「未利用魚」を加工し、商品化している。 ・干物加工の際に出る、本来捨ててしまう骨を素揚げし、「骨せんべい」にするなど、廃棄部分からの商品開発を積極的に行っている。 ・近隣店舗と協力し、ビーチクリーンを年2回開催している。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

31	株式会社バリューアドバイザーズ	<p>・「金融で日本を元気に」という会社のビジョンのもと、正しい金融の知識と行動のもとに、一人でも多くの人のやりたいことを叶えていく組織です。</p> <p>・日本の大半を占める中小企業で働く社員とそこへご家族に対して、金融の知識がないことで、人生の選択の質が下がらないような取組を進めています。</p> <p>・小田原市民、市役所職員のライフプランの相談のもと、「できるだけお金に困らない人生」の仕組みづくりを進めています。</p>	
32	東日本電信電話株式会社 神奈川事業部	<p>NTT グループは「2040 年カーボンニュートラル達成」等の目標を掲げ、保有する通信技術・アセット・ノウハウの活用等により、地域循環型社会に向けたイノベーションの実現に貢献していきます。</p> <p>・NPO 法人チームふくしまが展開している東日本大震災復興支援活動「福島ひまわり里親プロジェクト」への参加。「里親」としてひまわりの種を購入し、職場・自宅等でひまわりを栽培し、種を収穫、チームふくしまへ送付する取組を行っています。</p> <p>・社員の社会貢献活動の一環として地域の美化活動へ参加。「日本列島クリーン作戦」「ビーチクリーンアップ神奈川」「美しい港町横濱をつくる会」への参加や、各地の事業所周辺の清掃活動等を行っています。</p> <p>・森林の豊かな恵みを次の世代に引き継ぐ「かながわ森林再生 50 年構想」の趣旨に賛同し、神奈川県とともに森林の再生に取り組む「森林再生パートナー制度」に登録、「県立 21 世紀の森」での枝打ちボランティア活動を実施しています。</p> <p>・脱炭素社会の実現に向けて、社員の意識醸成を図っています。</p>	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

33	日立造船株式会社	<p>「私達は、技術と誠意で社会に役立つ価値を創造し、豊かな未来に貢献します」を経営理念に掲げ、「脱炭素」「資源循環」「安全で豊かな街づくり」の3つを主な事業分野として、サステナブルで安心・安全な社会の実現に貢献する事業を行っています。</p> <p>当社グループは、2050年に「環境負担をゼロにする」「人々の幸福を最大化する」をサステナブルビジョンとして掲げています。1881年の創業以来、創業者の社会を良くしたいとの想いを受け継ぎ、時代と共に変化する社会問題の解決に挑戦していきます。</p> <p>小田原市と脱炭素、資源循環、環境負担低減につながる取組を推進していきます。また、小田原市が企画するイベントに、SDGsパートナーとして参加します。</p>	
34	株式会社フリーアール	<p>無駄のない循環社会を。「いらない人」と「ほしい人」をつなげます。</p> <p>湘南エリア藤沢市を拠点として、2011年より遺品整理をメインに神奈川、東京、埼玉で、買い取り、片付けのお手伝いを行っています。</p> <p>需要と供給を満たしながら、持続可能社会(SDGs)の促進、貢献を目指します。FREE-Rの頭文字に込めた大切にしたいもの。</p> <p>「Future(未来)」「Recycle(再利用)」「Earth(地球)」「Ecology(自然環境)」「Resource(資源)」</p> <p>需要のあるところに販売し、無駄のない循環社会を目指します。</p> <p>お客様、取引先の企業・従業員など、「ひと」とのつながりを大切にしていきます。</p>	


令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

35	株式会社宮下保険サービス	<p>安心・安全・健康に暮らしたいというお客様の想いを実現するために、経済・社会・環境に関わる取組を通じて、質の高いサービスの提供及び新たな価値の創造に向けて挑戦し続け、地域社会に貢献していきます。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康経営とがん対策に継続的に取り組み、従業員もお客様も健康で明るく過ごせる環境の整備を推進します。 ・社員全員に質の高い教育研修を受ける機会を増やし、社員の働きがいと質の高いサービスの提供を目指します。 ・満足度、サービスの品質を向上させるため、PDCA サイクルを回して継続的に業務改善に取り組み、働きがいのある職場の実現と持続可能な経済成長を目指します。 ・ハザードマップを活用して、災害による被害者の減少と、保険を通じて直接的経済損失の減少を目指します。 ・災害などの非常事態にも事業を継続し、お客様に早期に保険金をお届けできる体制を目指します。 ・海岸を清掃し、海の豊かさを守ります。 	
36	ヤオマサ株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ・店舗に地場野菜販売コーナーを設置し、地産地消の推進。 ・小田原魚市場、地元漁師さんの直送商品、地場未利用魚の活用推進。 ・ヤオマサカップ小田原キッズ駅伝大会(小田原城山競技場)の開催。 ・ヤオマサ食育フェスタの開催で、地域の子どもへの食育サポート。 ・小田原市自治会連合会、商工会議所と、防災に関する包括連携協定締結。 ・地域のお祭り、イベントで、地域と交流を図り、地域活性化に協力。 ・店舗近隣小・中学生、高校生の店舗職場体験の受け入れ。 ・設置可能な店舗、施設に太陽光パネルの設置。 ・デマンドコントローラーの設置で、店舗電気使用量の抑制。 ・LED 照明への変更と、店舗冷蔵、製造設備の省エネ機器への変更。 ・使用済み食品トレー回収とエコトレー使用。 ・ペットボトルのキャップ集めで途上国へワクチン提供。 ・地元学生と障がい者の積極採用実施。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

37	山岸株式会社	<p>「社会への奉仕」を企業理念に掲げ、5つの経営方針を打ち出し、取り組んでいる。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 包装と物流分野において、顧客のニーズを満たし、顧客の発展に寄与する。 2 変革を尊び、常に新しい視点から経営効率を高め、企業の公正な利益を追求する。 3 社会から信頼される誠実な企業であり続ける。 4 会社の発展と共に、全員の健康、生活の安定と向上を図る。 5 相互に啓発を図り、優れた社会人の育成と資質の向上に努める。 <p>また、環境保全への取組として5つの行動指針を定め、あらゆる事業活動を展開している。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 環境法規制等を遵守する。 2 目標管理制度を活用と定期的に目標の見直しを行い、環境マネジメントシステムの継続的改善を図る。 3 廃棄物の削減、省資源・省エネルギーの推進並びに環境化学物質管理の充実により、汚染予防に努める。 4 人工生産林の有効活用を推進し、二酸化炭素の削減に努める。 5 環境方針を全従業員に周知し、社外にも公開する。 <p>以上の他にも、社員研修制度を充実させ、社外研修や通信教育による各種資格取得を推進している。また、女性活躍推進優良企業「小田原Lエール」シルバーステージの認定を受け、産休や育休、家族の介護等、ライフスタイルに合わせた柔軟な働き方ができる環境を整備している。</p>	
38	有限会社ユーキ建装	<ul style="list-style-type: none"> ・耐久性や耐候性のある塗料で建物の塗り替えを行い、美観を維持している。 ・エコペイントネットワークを通じて、建物一棟の塗り替えを行ったお客様の名前で植樹(プレゼントツリー)をし、植樹証明書をお渡ししている。 ・エア―鉋施工代理店となり、木材の再生と長寿命化に貢献している。 	

令和5年度 おだわらSDGsパートナーの活動概要と掲げるゴール

39	来幸	<ul style="list-style-type: none"> ●食品ロス(フードロス)の削減として <ul style="list-style-type: none"> ・仕入れ在庫管理の徹底 ・お客様が食べきれるように、注文時に小盛など分量の要望に対応。 ・野菜や肉の切れ端、魚のアラをスープ、出し汁として活用。 ・お客様が残さず食べると「おだちん」100コイン進呈。 ・残す場合、希望により持ち帰りパッケージを提供。 ●つくり責任つかう責任(持続可能な生産消費形態を確保する) <ul style="list-style-type: none"> ・地元の海産物、農産物を仕入れ、トレーサビリティを意識した食品を扱う。 ●その他 <ul style="list-style-type: none"> ・プラスチックごみを削減するため、紙製ストローを使用。 ・テイクアウト用の容器を紙やバイオプラスチックのものを使用。 ・お客様から「おだちん」100コインをいただいて、店内用マイ箸をプレゼント。 	
40	合同会社 One's Experience	<ul style="list-style-type: none"> ・小田原市に在住・在学する学生を対象に、上府中公園で運営しているドッグランへの受け入れを行い、動物を飼うことへの責任や命の尊さ、飼い主と犬との絆を学ぶとともに、小田原におけるペット業界への次世代の人材育成を行います。 ・飼い主同士の交流スペースを設けることで、飼い犬の悩みを飼い主同士の交流で気軽に話せる場所として利用いただき(専門家による相談会も実施)、飼育放棄やネグレクトなどを防ぎます。 ・市内の学校へ講師として赴き、保護犬の現状、命の大切さ、ペットと暮らすことで得られる心の豊かさなどを伝えます。 	